

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
961,593	527,311		55,072	355,200	62,892 (分担金、繰越金、 諸収入)	54,147
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
428,570	5,712		1,997			3,715

【目的】

国、県及び土地改良区等の関係機関と連携し、農業経営の安定化に向け、ほ場の大区画化や農業水利施設の更新、ため池等の耐震対策を推進するほか、中山間地域における耕作条件の改善を図るため農地及び農業用施設の整備を行う。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・委託料、工事請負費

項目	内 訳	事業費
維持管理適正化事業	除塵機、ベルトコンベア修繕工事 1 地区（合併前上越市）	3,685
県単農業農村整備事業	農道測量設計業務委託 1 地区（大島区） ため池シート張工事 1 地区（吉川区） 頭首工ゲート工事 1 地区（名立区）	13,366
農業水路等長寿命化・防災減災事業	排水路整備工事 1 地区（中郷区）	8,500
中山間地域農業農村総合整備事業	換地等調整業務委託 1 地区（清里区）	545
団体営調査設計事業	調査計画業務委託 1 地区（牧区）	7,039
農村地域防災減災事業	ため池ハザードマップ作成業務委託 10 地区（安塚区、牧区、板倉区） ため池廃止工事 5 地区（合併前上越市、牧区、 板倉区、名立区）	38,906
合 計		72,041

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・負担金補助及び交付金（令和 4 年度明許繰越分）

項 目	内 訳	事業費	負担金額
県営土地改良事業負担金			
県営経営体育成基盤整備事業	12 地区（合併前上越市、大潟区、吉川区、板倉区）	1,831,728	173,333
県営湛水防除事業	1 地区（大潟区）	93,000	2,790
県営ため池等整備事業	9 地区（合併前上越市、浦川原区、牧区、吉川区、板倉区、清里区、三和区）	364,900	41,228
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	2 地区（柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区）	319,000	79,750
県営かんがい排水事業	2 地区（浦川原区、頸城区、三和区）	41,000	4,100
県営中山間地域農業農村総合整備事業	2 地区（安塚区、浦川原区、大島区、牧区）	123,400	16,042
合 計		2,773,028	317,243

・負担金補助及び交付金（令和 5 年度分）

項 目	内 訳	事業費	負担金額
県営土地改良事業負担金			
県営経営体育成基盤整備事業	19 地区（合併前上越市、大潟区、吉川区、板倉区、清里区）	329,746	31,595
県営湛水防除事業	1 地区（大潟区）	23,700	711
県営ため池等整備事業	11 地区（合併前上越市、浦川原区、牧区、吉川区、板倉区、清里区、三和区）	172,047	19,662
県営農地環境整備事業	2 地区（安塚区、吉川区）	5,081	510
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	2 地区（柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区）	213,000	51,048
県営かんがい排水事業	2 地区（浦川原区、頸城区、三和区）	43,633	4,363
県営中山間地域農業農村総合整備事業	3 地区（安塚区、浦川原区、大島区、牧区、清里区）	45,945	8,315
県営農道橋等保全対策事業	2 地区（合併前上越市、名立区）	16,000	4,000
合 計		849,152	120,204

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

項目	内 訳	事業費	負担金額
その他負担金			
土地改良関係団体、 各種協議会等負担金等	上越農地協議会 新潟県土地改良事業団体連合会 関川用水地区推進協議会 ほか	-	3,462
維持管理適正化事業	上島排水機場（合併前上越市）ほか	-	606
合 計		-	4,068

項目	内 訳	事業費	補助金額
各種補助金			
維持管理適正化事業	8 地区（合併前上越市、柿崎区、 頸城区、三和区）	-	2,155
県単農業農村整備事業	7 地区（合併前上越市、頸城区、 三和区）	-	802
農業水路等長寿命化・防 災減災事業	4 地区（合併前上越市、三和区）	-	7,453
農地耕作条件改善事業	1 地区（合併前上越市）	-	3,250
合 計		-	13,660

各事業の内訳

・県営経営体育成基盤整備事業

農地の集積による生産コストの低減等を図るため、ほ場の大区画化、汎用化を推進

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費 ¹ ・7%)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
合併前 上越市	木島	H27～R6	区画整理 A=97.7ha 暗渠排水 A=34.5ha	区画整理 A=97.5ha 暗渠排水 A=33.3ha	99.6	497	354
	今池	H30～R7	区画整理 A=40.3ha 暗渠排水 A=15.2ha	区画整理 A=39.8ha 暗渠排水 A=10.9ha	89.0	13,000	600
	広島	H30～R7	区画整理 A=52.2ha 暗渠排水 A=20.5ha	区画整理 A=51.9ha 暗渠排水 A=16.8ha	88.7	163	10
	中江有田	R1～R8	区画整理 A=54.1ha 暗渠排水 A=54.0ha	区画整理 A=43.4ha 暗渠排水 A=15.0ha	78.0	17,273	3,627
	石沢	R2～R9	区画整理 A=45.8ha 暗渠排水 A=37.0ha	区画整理 A=44.0ha 暗渠排水 A=8.3ha	63.3	23,000	8,736
	島田	R2～R8	区画整理 A=110.7ha 暗渠排水 A=81.9ha	区画整理 A=49.6ha	43.4	39,400	700

決算書 (P276～P277)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

地区名		事業期間	全体計画概要	令和５年度まで	進捗率 (事業費へ入る%)	負担金額	
						繰越	令和５年度
合併前 上越市	和田北部	R2～R9	区画整理 A=50.9ha 暗渠排水 A=46.3ha	区画整理 A=11.0ha 換地費	15.4	8,500	944
	青野	R3～R9	区画整理 A=46.8ha 暗渠排水 A=46.8ha	区画整理 A=10.8ha 測量試験費	25.3	17,100	200
	三郷	R3～R11	区画整理 A=42.1ha 暗渠排水 A=42.1ha	測量試験費	23.2	5,750	200
	高士東部	R5～R10	区画整理 A=13.7ha 暗渠排水 A=13.7ha	測量試験費 換地費	1.8	－	900
	下池部	R5～R10	区画整理 A=11.1ha 暗渠排水 A=11.1ha	測量試験費 換地費	3.8	－	1,500
	高士南部	R5～R10	区画整理 A=10.9ha	測量試験費 換地費	3.9	－	2,000
	飯	R6～	概略設計		－	－	50
大潟区 吉川区	東潟	R2～R7	区画整理 A=34.7ha 暗渠排水 A=34.7ha	区画整理 A=34.7ha	63.1	15,000	924
吉川区	原之町	R2～R8	区画整理 A=31.7ha 暗渠排水 A=31.7ha	区画整理 A=24.0ha 暗渠排水 A=11.0ha	60.2	22,500	2,200
板倉区	高野	H29～R5	区画整理 A=81.4ha 暗渠排水 A=81.2ha	区画整理 A=81.4ha 暗渠排水 A=81.2ha	100.0	11,150	1,200
清里区	北野	R5～R10	区画整理 A=10.1ha 暗渠排水 A=10.1ha	実施設計 換地費	11.0	－	4,600
	清里第１	R5～R11	区画整理 A=11.8ha 暗渠排水 A=11.8ha	測量試験費 換地費	3.3	－	2,800
	清里第３	R7～	概略設計		－	－	50
合 計						173,333	31,595

・県営湛水防除事業

湛水被害の防止を図るため、排水路を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和5年度まで	進捗率 (事業費へ入る%)	負担金額	
						繰越	令和5年度
大潟区	新堀川	R2～R6	排水路工 L=71.3m	排水路工 L=40.4m	61.2	2,790	711

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・県営ため池等整備事業

災害の未然防止を図るため、ため池等の農業用施設を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費へス %)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
合併前 上越市	下馬場池	R2～R6	ため池工 1 か所 取水施設 1 式	ため池工 1 式	52.8	4,400	1,681
	古川	R2～R8	排水路工	測量試験費	6.5	1,788	392
	青野	R5～R8	ため池工 1 か所	ため池工 1 式	9.3	-	1,540
板倉区	針	R2～R8	排水路工 調整池 3 か所	測量試験費 用地費	5.1	260	26
浦川原区	山本	H30～R6	ため池工 1 か所 洪水吐工	ため池工 1 式 洪水吐工 1 式	68.2	3,080	3,190
牧区	棚広	R2～R6	用水路工	用水路工 1 式	92.1	2,880	2,240
吉川区	仲伝尻下	R4～R7	ため池工 1 か所	ため池工 1 式	8.1	-	1,430
	大久保	R2～R8	ため池工 1 か所	ため池工 1 式	80.2	6,160	3,419
清里区	坊ヶ池	R2～R8	ため池工 1 か所	ため池工 1 式	49.8	8,800	1,650
三和区	三和	H30～R12	ため池工 4 か所	ため池工 1 式	4.5	12,980	2,519
名立区	宇山	H30～R5	ため池工 1 か所	ため池工 1 式	100.0	880	1,575
合 計						41,228	19,662

・県営農地環境整備事業

優良農地と耕作放棄地等を計画的に区分し、保全・管理と生産基盤整備を一体的に推進

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費へス %)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
安塚区	樽田	H27～R5	区画整理 A=7.8ha 用排水施設 N=2 か所 農道 L=757m 農地保全 A=0.1ha	区画整理 A=7.8ha 用排水施設 N=2 か所 農道 L=757m 農地保全 A=0.1ha	100.0	-	10
吉川区	道之下	H29～R5	区画整理 A=16.6ha 暗渠排水 A=16.4ha 農地保全 A=0.3ha	区画整理 A=16.6ha 暗渠排水 A=16.4ha 農地保全 A=0.3ha	100.0	-	500
合 計						-	510

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業

排水路等の機能保持を図るため、基幹となる農業水利施設の補修、更新

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
大湊区 頸城区	湊川 2 期	H24～R7	排水路工 L=7, 133m	排水路工 L=4, 892. 9m	87. 6	40, 500	46, 527
柿崎区 吉川区	赤川	H27～R8	排水路工 L=2, 660m	排水路工 L=1, 415. 3m	64. 1	39, 250	4, 521
合 計						79, 750	51, 048

・ 県営かんがい排水事業

安定的に農業用水を確保するため、基幹的水利施設を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
浦川原区 頸城区	頸城	R2～R8	水管理制御施設 1 式 用水路工 L=50. 0m 付帯施設 1 式	用水路工 L=50. 0m 付帯施設 2 か所	10. 1	3, 700	3, 563
三和区	多能	R3～R9	用水路工 L=2, 118m	測量試験費	6. 5	400	800
合 計						4, 100	4, 363

・ 県営中山間地域農業農村総合整備事業

中山間地域における農業の維持を図るため、ほ場や農道、用排水路を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
安塚区 浦川原区 大島区	東頸北部	R3～R11	用排水施設 25 か所 暗渠排水 A=35. 5ha	用排水施設 2 か所	19. 8	11, 050	1, 430
牧区	牧	R3～R9	用排水施設 9 か所 暗渠排水 A=7. 4ha	用排水施設 1 か所	26. 7	4, 992	1, 170
清里区	上中條	R8～	概略設計		－	－	5, 715
合 計						16, 042	8, 315

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

- ・ 県営農道橋等保全対策事業
農道橋等の安全を図るため、老朽化及び耐震対策

地区名		事業期間	全体計画概要	令和 5 年度まで	進捗率 (事業費ベース %)	負担金額	
						繰越	令和 5 年度
合併前 上越市	上越 2 期	R4～R7	橋梁保全 N=1 橋 (西戸野橋)	調査・実施設計	14.2	-	2,000
名立区	荒田・ 宮ノ谷	-	概略設計		-	-	2,000
合計							4,000

○目標達成状況

- ・ 県営経営体育成基盤整備事業により、17 地区のほ場において、大区画化や汎用化などが推進され、農業の生産性の向上、担い手への農地集積が図られた。
- ・ 県営の農地環境整備事業や中山間地域農業農村総合整備事業により、中山間地域の農地及び農業用施設の耕作条件の改善が図られた。

【事業の成果】

- ・ 県営経営体育成基盤整備事業において、板倉区高野地区が完了したほか、県営ため池等整備事業において、名立区宇山地区が、県営農地環境整備事業において、安塚区樽田地区と吉川区道之下地区がそれぞれ完了したことにより、農地、農業水利施設等の農業生産基盤が整備され、農地の保全とともに、農業用施設の安全性及び機能性の向上が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 耕作環境の改善と耕作放棄地の発生防止、担い手への農地集積を図るため、引き続き、県及び土地改良区と連携し、事業を推進していく。
- ・ ほ場整備の新規地区においては、農業経営の多角化を図るため、園芸作物の導入を進めており、農業者、えちご上越農業協同組合、県、土地改良区と連携して取り組んでいく。
- ・ 防災重点農業用ため池については、引き続き、耐震・豪雨対策を進めるとともに、ハザードマップ作成によるソフト対策にも取り組んでいく。
- ・ 進捗が遅れている事業については、事業期間の延伸を含めて県と協議、連携し、事業の進捗に努めていく。

【執行残額について】

- ・ 事業未実施：農業水路等長寿命化・防災減災事業及び県営ため池等整備事業の一部が令和 6 年度以降に見送りとなったことに伴い、負担金及び補助金が減額となったため 1,997
- ・ そ の 他：県営事業等の事業費確定に伴い負担金等が減額となったため 3,640
普通旅費、有料道路使用料等の実績が当初の見込みを下回ったため 65
事業実施に伴い端数残額が発生したため 10

決算書 (P276～P277)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

〔県営経営体育成基盤整備事業（板倉区高野地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

〔県営農地環境整備事業（吉川区道之下地内）〕

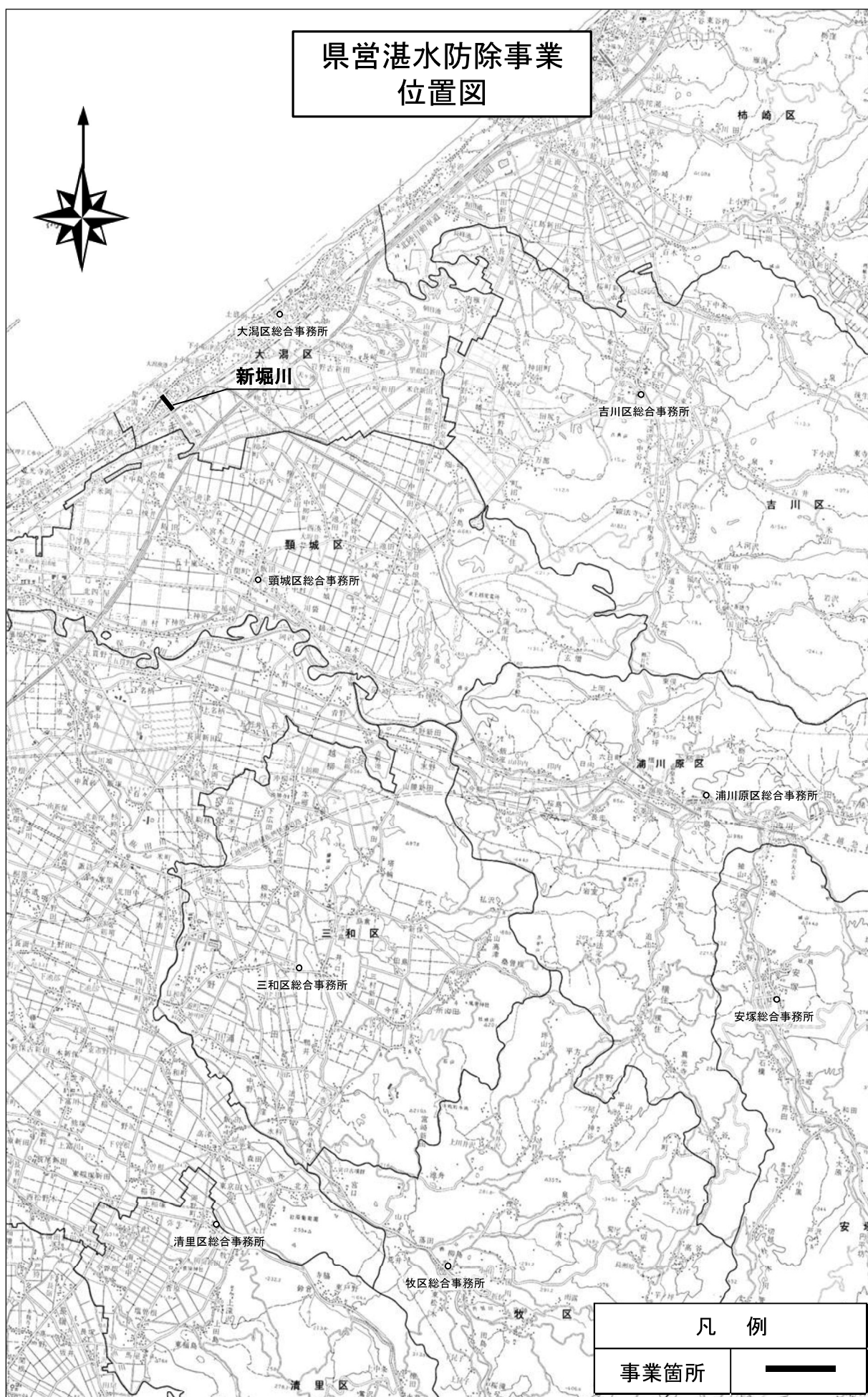


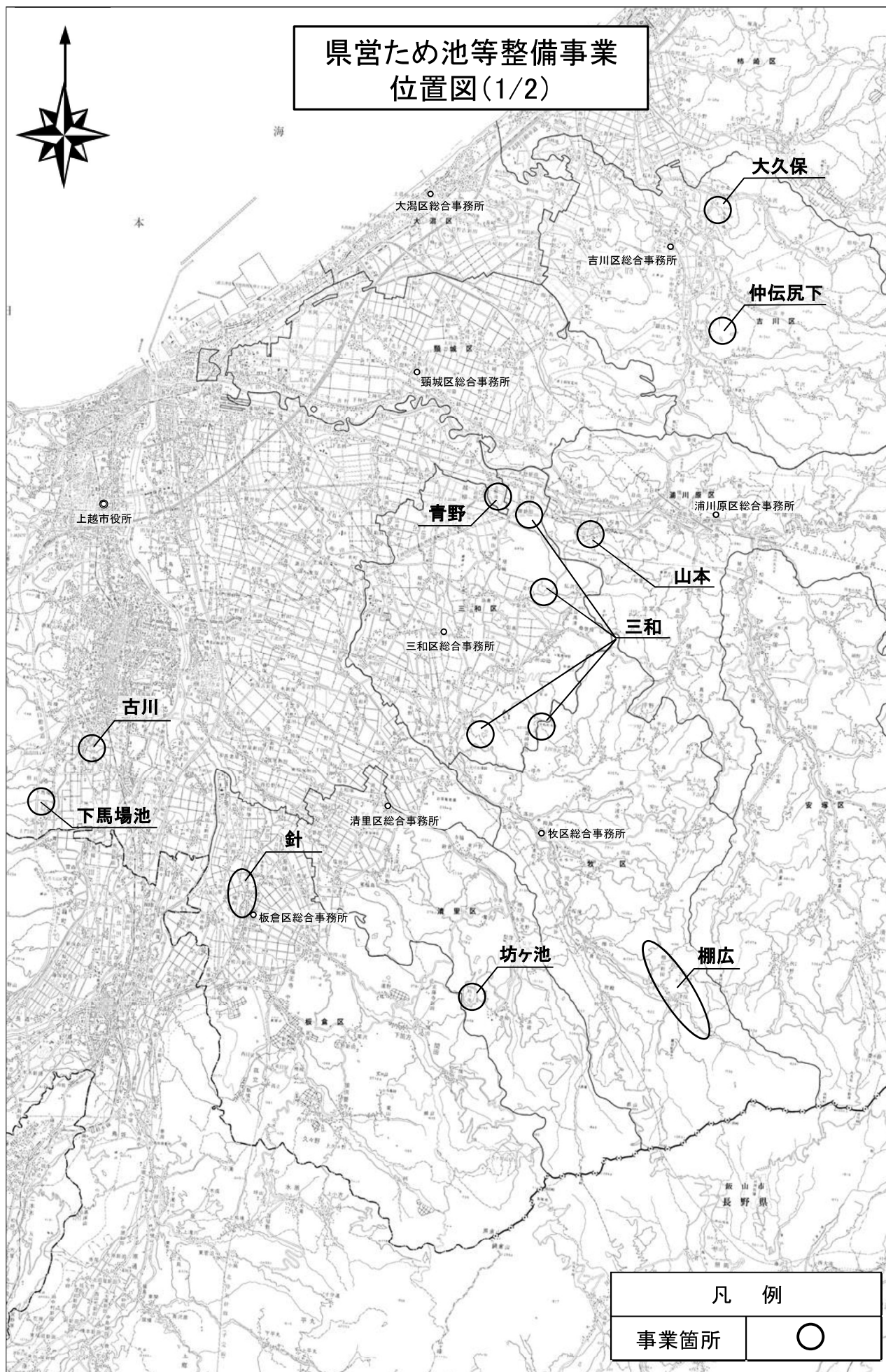
〔着手前〕

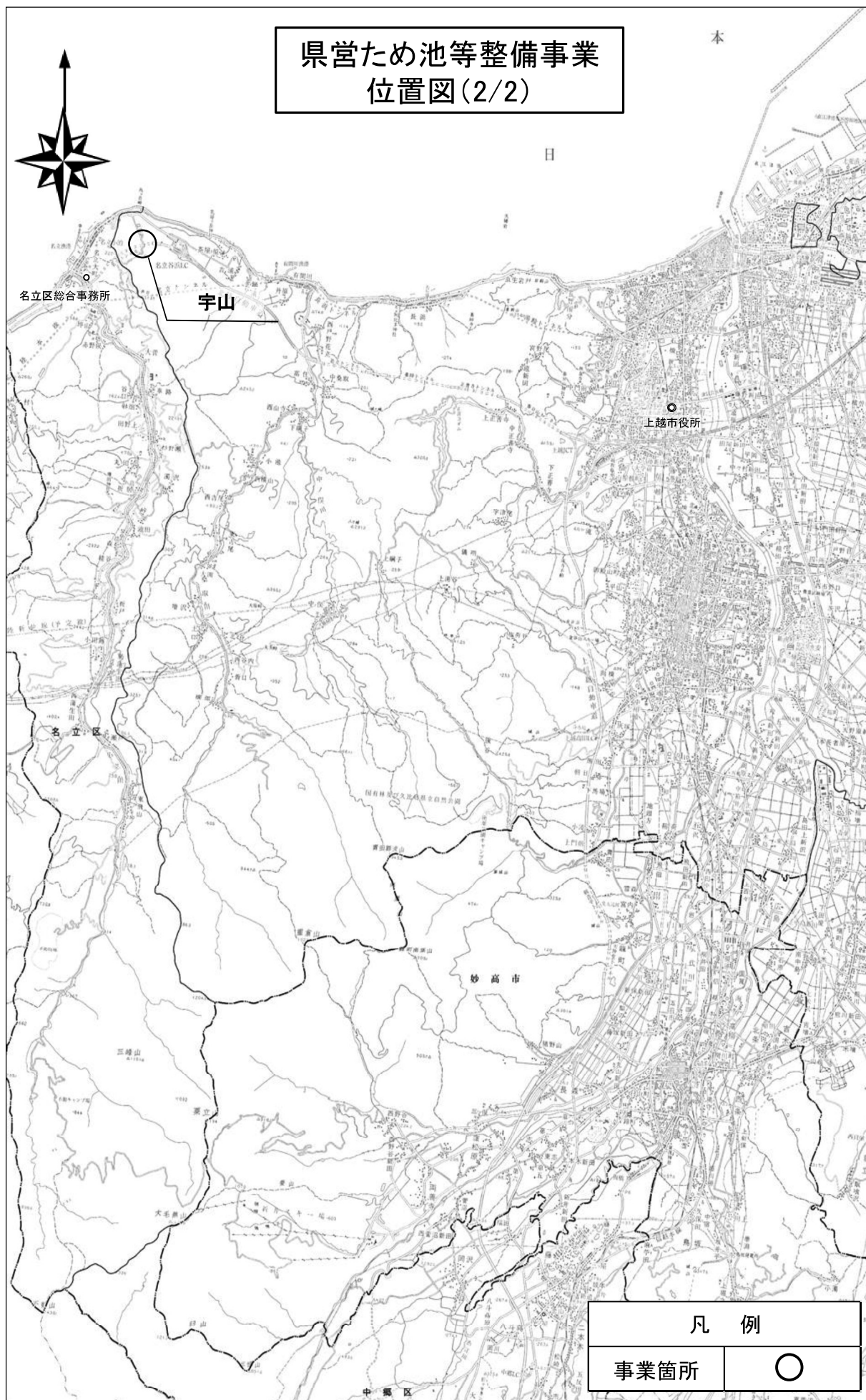


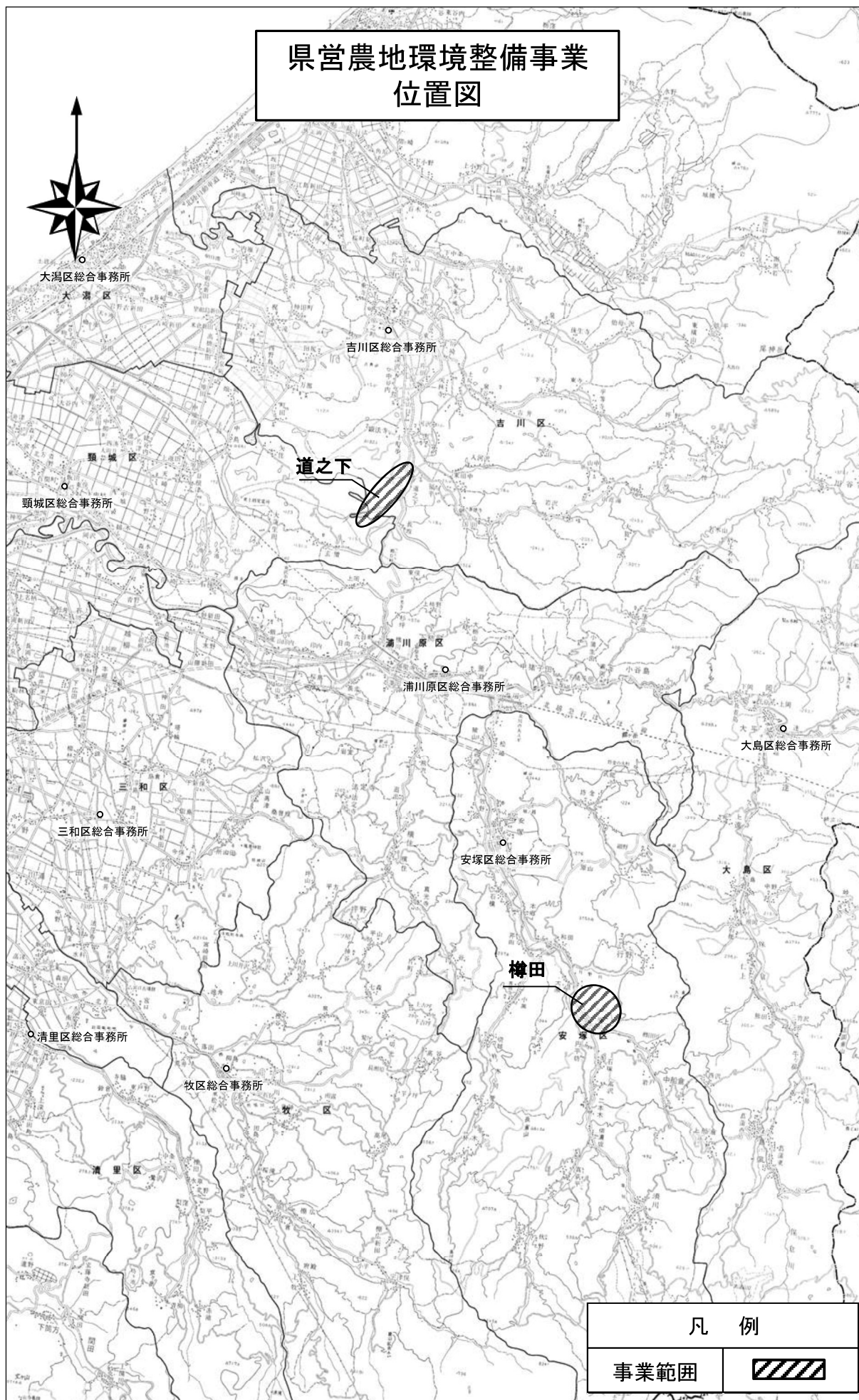
〔竣工〕



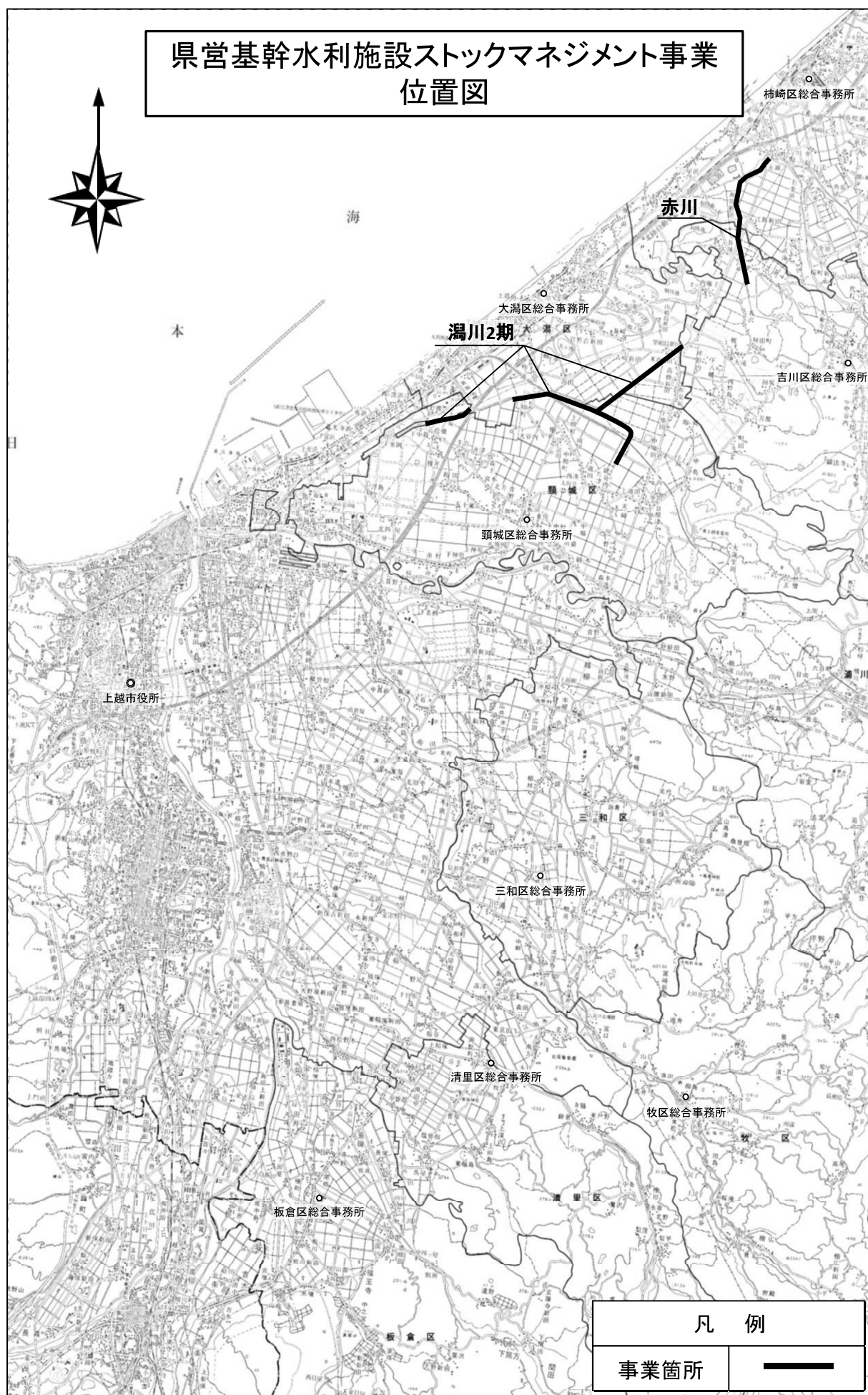






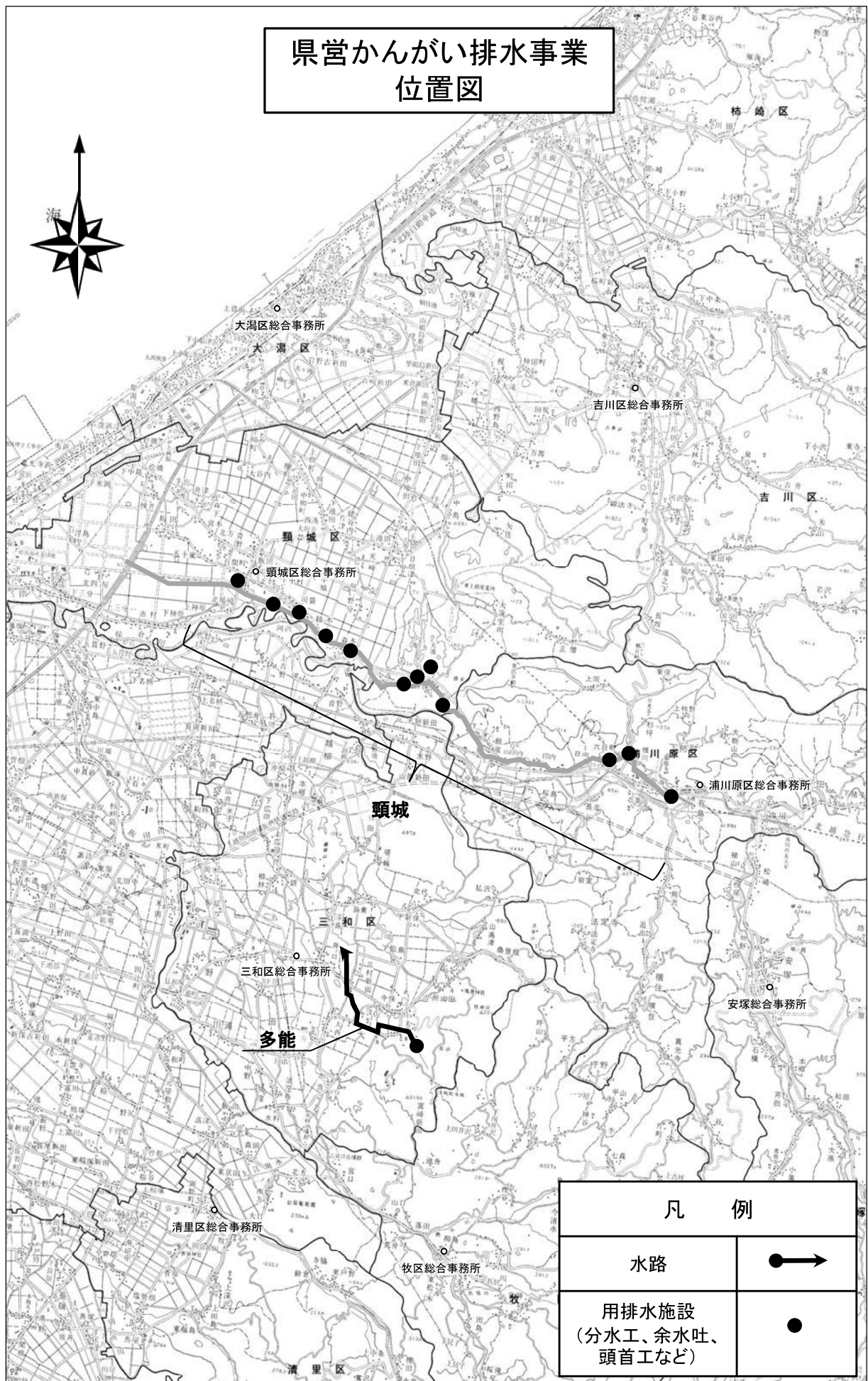


県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 位置図

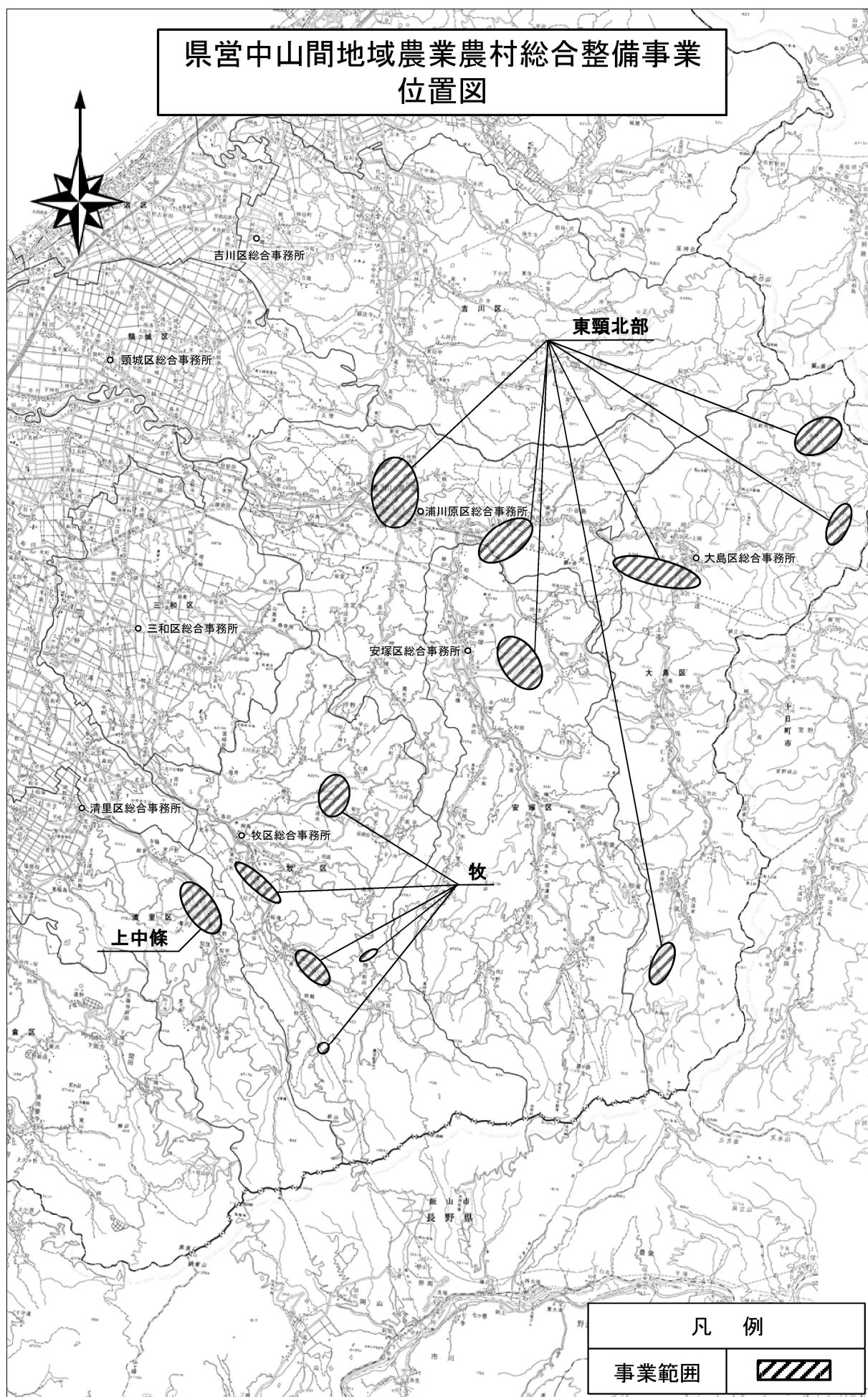


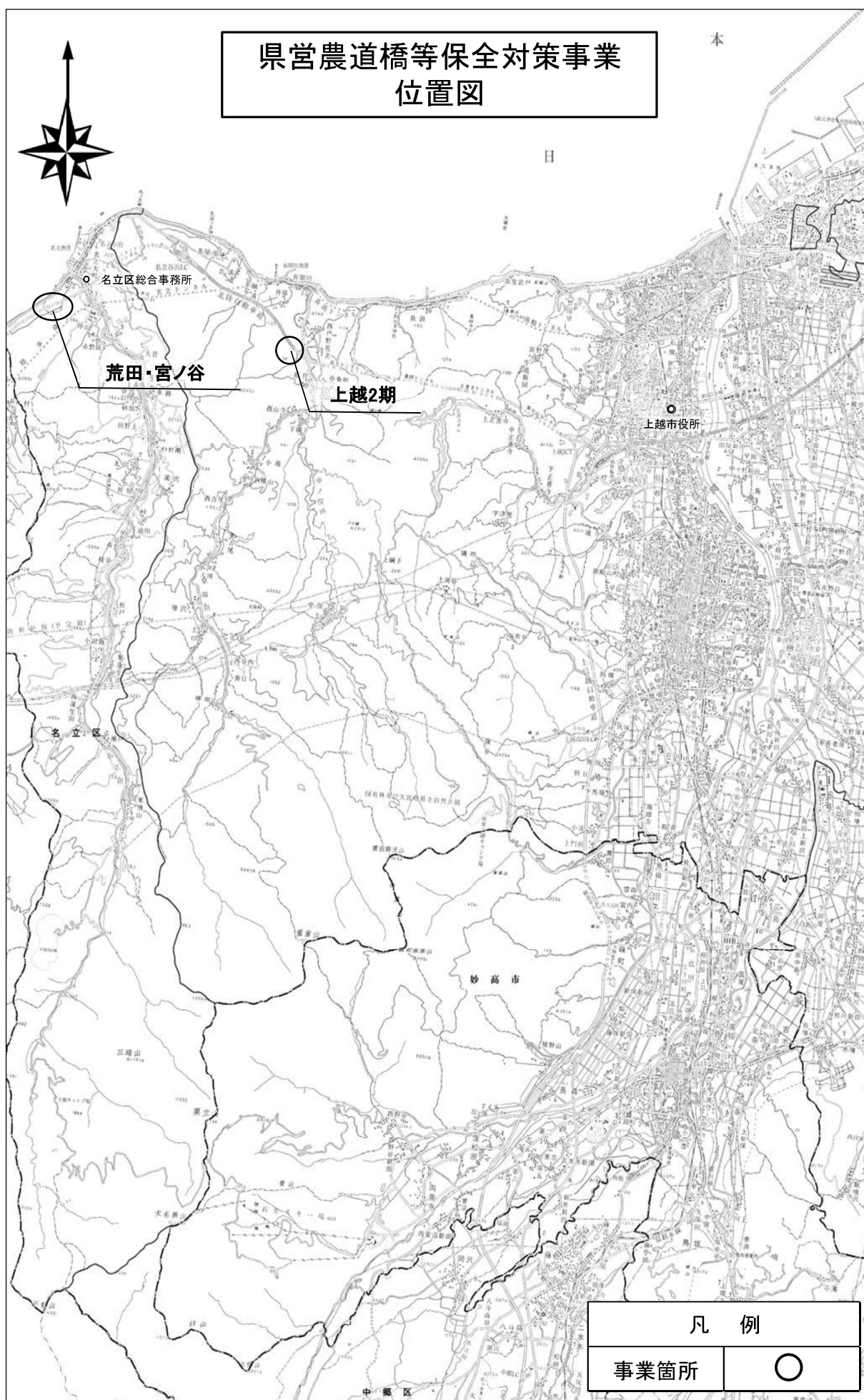
凡 例	
事業箇所	—

県営かんがい排水事業 位置図



県営中山間地域農業農村総合整備事業 位置図





(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,064	2,649				189 (使用済)	2,460
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	415					415

【目的】

地域農業の振興やコミュニティ活動を推進する施設として、農業団体及び地域住民等が快適に利用できるよう、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・清里活性化交流施設の維持管理及び運営

所在地	清里区武士 407 番地 1
設置	平成 14 年度
構造	鉄骨造 2 階建
面積	1,393.78 m ²
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

- ・施設利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	3,935 人	3,549 人	-	3,151 人

決算書 (P276～P277)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	176	269	255	189
	その他	-	-	1	-
	合計	176	269	256	189
②支出	施設維持管理費	2,456	2,237	2,927	2,528
	うち委託料	1,490	1,261	1,719	1,463
	その他	43	41	137	121
	合計	2,499	2,278	3,064	2,649
③公費投入額 (②－①)		2,323	2,009	2,808	2,460
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		590	566	-	781

【事業の成果】

- ・適切な維持管理や運営により、快適に利用できる環境を提供できた。
- ・令和 4 年度と比較して、ゲートボールや各団体の会議等の利用者が減少し、398 人減の 3,151 人であった一方、研修室や調理室を利用する方が増えており、地域住民の交流機会の創出と連帯感の醸成に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き、適切な維持管理と運営を行うとともに、市ホームページや清里区広報紙等を通じて、活用事例を紹介するなど施設の利用促進に向けた情報発信に努めていく。

【執行残額について】

- ・そ の 他：光熱水費、施設管理運営業務委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため
413
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P 278～P 279)	6 款 2 項 1 目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,084	6,754					6,754
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,330		107			1,223

【目的】

中山間地域での生業の創出や定住を図るため、森林資源や森林空間の活用策を学び、里山の魅力が再認識される取組を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■森林空間を活用した、中山間地域の魅力再発見事業 300

○令和5年度目標

- ・森林への興味関心を高め、森林整備の知識や技術について理解を深める。

○実施内容、これまでの経過等

- ・雪上間伐体験会の開催

開催日：令和6年3月16日(土)

会場：大島区田麦地内(ブナ林)

参加者：37人

内容：雪上での間伐作業見学と木材搬出作業体験

○目標達成状況

- ・雪上間伐体験会を通じて、里山の魅力を伝えたことで、森林整備の知識や技術について理解を深めてもらうことができた。

■地域独自の予算事業 263

- ・水源保護地域の森活用事業(名立区)(263)

決算書 (P278～P279)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業総務費		

〔雪上間伐体験会〕



〔間伐作業見学〕



〔木材搬出作業体験〕

【事業の成果】

- ・雪上間伐体験会の参加者からは、「林業の大切さが理解できた」「より実践的なことを見学、体験できてよかった」などの声が聞かれ、森林への興味関心を高めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も森林への興味関心を高め、より里山の魅力が再認識されるよう、情報発信に取り組んでいく。

【執行残額について】

- ・事業未実施：事業内容を見直したため 107
- ・その他：会計年度任用職員報酬、里山体験会実施業務委託料等が当初の見込みを下回ったため 1,221
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P278～P279)	6 款 2 項 1 目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,032	16,826				2 (諸収入)	16,824
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	206		118			88

【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、森林を守り、育てる体験等を通じて自然環境に関する意識の高揚が図られるよう、施設の適切な管理を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■くわどり市民の森 15,360

○令和5年度目標

・利用者数 6,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字西谷内488番2
設置	平成14年度
施設	管理棟、分区林、遊歩道ほか
面積	272.0ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	5,557人	6,454人	6,000人	4,316人

決算書 (P278～P279)	6 款 2 項 1 目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	くわどり市民の森 管理運営委託料	14,156	14,156	14,156	14,156
	管理運営委託料 以外の経費	695	1,358	826	1,204
	合計	14,851	15,514	14,982	15,360
③公費投入額 (②－①)		14,851	15,514	14,982	15,360
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		2,672	2,404	2,497	3,559

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	303	282	262	281
	くわどり市民の森 管理運営委託料	14,156	14,156	14,156	14,156
	その他	164	235	200	192
	合計	14,623	14,673	14,618	14,629
②支出		14,621	14,673	14,618	14,628
差引 (①－②)		2	0	0	1

○目標達成状況

- ・利用者数目標 6,000 人に対し 4,316 人となり、目標を達成することができなかった。

■二貫寺の森 1,466

○実施内容、これまでの経過等

- ・二貫寺の森の維持管理及び運営

所在地	大字杉野袋 102 番地 1
設 置	平成 23 年度
施 設	管理棟、遊歩道ほか
面 積	28.0ha
管 理	直営 (業務委託)

決算書 (P278～P279)	6 款 2 項 1 目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計 画	実 績
利用者数	307 人	578 人	-	553 人

※市主催のイベントや諏訪地区公民館の事業、外部団体等による利用者、小学校の総合学習等での利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	4	6	9	2
	合計	4	6	9	2
②支出	施設維持管理費	1,740	1,843	2,001	1,439
	うち委託料	1,363	1,496	1,715	1,153
	その他	35	31	49	27
	合計	1,775	1,874	2,050	1,466
③公費投入額 (②-①)		1,771	1,868	2,041	1,464
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		5,769	3,232	-	2,647

【事業の成果】

- ・くわどり市民の森では、施設周辺の草刈りや散策コースの整備点検など維持管理を適切に行い、安全に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者主催による木工作体験や自然観察会を実施したことにより、地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供することができた。
- ・二貫寺の森では、施設周辺の草刈りや通路補修など維持管理を適切に行い、安全に利用できる環境を整えるとともに、市主催の自然観察会及び工作会を実施したことにより、地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・連携しているくわどり湯ったり村の利用者が少なかったことや、夏の高温の影響から利用を控えたことなどが、くわどり市民の森の目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・両施設とも引き続き、適切な維持管理に努めるとともに、利用の促進に向けて、散策の見どころや各種イベント等について、広く情報を発信していく。

決算書 (P278～P279)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

【執行残額について】

- ・事業未実施：害虫駆除業務委託が不要となったため 118
- ・その他：報償金、修繕料等が当初の見込みを下回ったため 81
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 7

〔市民の森の活動状況〕



〔くわどり市民の森（自然観察会）〕



〔二貫寺の森（工作会）〕

(単位：千円)

決算書 (P278～P281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
34,945	34,881		22,502			12,379
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	64			63	1	

【目的】

春日山城跡周辺や海岸保安林等の公益的機能の高い松林において、松くい虫被害のまん延を防止するため、被害木の伐倒駆除及び薬剤散布を行い、周辺住民の生活環境や景観を保全する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・伐倒駆除及び薬剤散布を組み合わせることにより、被害の発生を最小限に抑える。

○実施内容、これまでの経過等

・松くい虫防除事業

地区	実施内容	事業量	事業費
合併前上越市 柿崎区、大潟区	伐倒駆除	1,432 本・549.5 m ³	25,236
	薬剤散布（無人ヘリ）	59.0 ha	7,471
	被害木調査	2 回・199.9 ha	1,434
合 計			34,141

・森林病虫害防除事業

地区	実施内容	事業量	補助金額
合併前上越市 大潟区、名立区	薬剤樹幹注入	49 本	740

(参考) 被害の推移

令和6年3月現在

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被害本数	570 本	1,716 本	2,507 本
被害量	207.2 m ³	632.6 m ³	1,144.7 m ³

決算書 (P278～P281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

○目標達成状況

- ・令和4年度と比較し、被害本数、被害量ともに増加し、被害の発生を最小限に抑えることができなかった。

【事業の成果】

- ・被害の増加を防ぐことはできなかったが、適切な時期に薬剤散布及び薬剤樹幹注入による予防や被害木の伐倒駆除を実施し、松林の保全を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・近年の高温少雨の影響が松の生育にとっては厳しい環境にあったため、樹勢とともに抵抗力が大幅に弱まった一方で、松くい虫にとっては行動が活発化しやすい良好な環境となったことが、被害拡大の要因と推測される。
- ・引き続き、気象状況を把握し、松くい虫が発生する前の適切な時期を見定めながら、予防及び駆除を実施し、被害のまん延防止に努めていく。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 63
松くい虫防除事業委託料（63）
- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

〔松くい虫防除事業〕



〔伐倒駆除〕



〔薬剤散布（無人ヘリ）〕

(単位：千円)

決算書 (P280～P281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,278	23,484		4,759		3,765 (財産収入、諸収入)	14,960
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,794	680		1,042		72

【目的】

良質な地域産材の生産や温暖化防止、国土保全など、森林の持つ多面的機能の維持向上を図るため、除間伐等を実施し、適切な保育管理を推進する。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■森林保育管理事業 4,264

○実施内容、これまでの経過等

- ・森林地図情報システム及び林地台帳システムの運用

■市営分収林整備、作業路開設 11,828

○令和 5 年度目標

- ・市営分収林の利用間伐 5.3ha を完了し、間伐材の利活用を図る。

○実施内容、これまでの経過等

地区	団地名	実施内容	事業費
板倉区	別所	利用間伐 5.3ha 作業路開設 852m 間伐材運搬 327 m ³ 間伐材一次製材・乾燥 9 m ³	11,828

○目標達成状況

- ・別所団地について、利用間伐 5.3 ha を完了し、搬出した間伐材の利活用を図ることができた。

決算書 (P 280～P 281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

■森林総合研究所分収林整備 1,375

○令和5年度目標

- ・水源林の除伐 3.5ha を完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

地 区	団地名	実施内容	事業費
牧区	内山	除伐 3.5ha	1,375

○目標達成状況

- ・内山団地について、除伐 3.5ha を完了することができた。

■森林整備活用推進事業 6,017

○令和5年度目標

- ・市町村森林経営管理事業として利用間伐 6.7ha を完了し、適切に経営管理する。

○実施内容、これまでの経過等

地 区	地区名	実施内容	事業費
吉川区	河沢	保育間伐 9.35ha	6,017
大島区	棚岡	林業経営体の公募及び選定	-
中郷区	二本木ほか		
名立区	名立大町		

○目標達成状況

- ・吉川区河沢地区について、施業方法を利用間伐から保育間伐に見直したことで、目標値を上回る 9.35ha を実施し、適切に経営管理することができた。

【事業の成果】

- ・森林地図情報システム及び林地台帳システムについて、適切に運用したことで、森林の管理に活用することができた。
- ・市営分収林整備、作業路開設では、計画に基づき間伐を実施したことで、造林木の生育を促進するとともに良質な間伐材 270 m³を市内製材事業者等に共販し、地域産材の利用につなげたほか、間伐材の利活用に向け、生産した間伐材 9 m³を一次製材後に貯留したことで、令和6年度以降の活用につなげることができた。
- ・森林総合研究所分収林について、水源林の水資源のかん養機能を維持するため、適期に適切な保育管理（除伐）を実施することができた。
- ・吉川区河沢地区において、森林経営管理制度を活用した私有林の適正な管理を行ったほか、大島区棚岡、中郷区二本木ほか、名立区名立大町の3地区において、経営管理を担う林業経営体を選定し、長期的な林業経営の安定化に向けた体制を構築することができた。

決算書 (P 280～P 281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・森林・林業業務の円滑化や効率的な施業集約化のため、引き続き、所有者等の基本情報を一元管理し、精度向上を図っていく。
- ・市営分収林の利用間伐を計画的に進めることにより、良質な地域産材を安定生産し、公共事業での活用や地元製材所への共販など、木材の地域内利用を推進していく。
- ・森林総合研究所分収林について、水資源のかん養機能の維持増進を図るため、分収林の除伐など生育状況に応じた適切な保育管理を計画的に実施していく。
- ・森林経営管理制度を活用し、管理が行き届いていない私有林について、適正かつ効率的な森林の管理を進めていく。

【執行残額について】

- ・事業費節減：森林施業方法見直しに伴う森林経営管理委託料の減 680
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 1,042
市営分収林整備委託料 (712)
森林総合研究所分収林整備委託料 (330)
- ・その他：消耗品費、保険料の実績が当初の見込みを下回ったため 69
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

〔吉川区河沢地区〕



〔間伐〕

〔板倉区別所団地〕



〔搬出した間伐材〕

(単位：千円)

決算書 (P280～P281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,995	14,251					14,251
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
9,681	63					63

【目的】

森林資源の保全・活用に向けて、私有林の間伐や作業道整備等に係る経費を助成するほか、森林に至るまでの道路の補強に対する経費の助成を拡充し、森林整備を促進する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■森林整備事業補助金 14,251

○令和5年度目標

- ・間伐や作業道の整備等を支援し、森林整備の促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

実施内容	事業量		補助金額	
利用間伐	60.0ha	61.1ha	12,444	14,251
切捨間伐	0.9ha		20	
枝打ち	0.1ha		4	
除伐	0.1ha		6	
作業道整備	5,556m	6,856m	1,347	
既設道補強	1,300m		430	

○目標達成状況

- ・利用間伐や作業道整備などに係る経費を支援したことで、森林整備の促進を図ることができた。

【事業の成果】

- ・森林整備に対して国及び県と連携して支援したことで、森林所有者の負担軽減が図られ、木材生産を始めとした森林資源の保全・活用を図ることができた。
- ・森林に至るまでの道路の補強（既設道補強）に対する経費の助成拡充により、効果的かつ円滑な森林整備を促進することができた。

決算書 (P 280～P 281)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域産材の生産を増やし、林業経営が安定的かつ効果的に行われるよう、引き続き、森林整備に対する支援を行っていく必要がある。
- ・繰り越した高温・渇水対応きのこ生産条件整備支援事業費補助金及び森林整備・林業等振興整備交付金について、早期完了に向け、適切な支援に努める。

【執行残額について】

- ・その他：森林整備事業補助金の実績が当初見込みを下回ったため 63

(単位：千円)

決算書 (P280～P281)	6 款 2 項 3 目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
158,024	154,845		45,510	43,600	4,795 (繰入金)	60,940
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,179			1,220		1,959

【目的】

林道パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、側溝清掃や除草を実施し、通行に支障がないよう適切な維持管理を行う。

また、林道の草刈りや側溝清掃を地元町内会へ業務委託し、林道維持管理費の縮減を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・主な維持管理

区 分	実施内容	件 数	事業費
修繕料	路面修繕ほか	9 件	6,134
実施設計委託料	林道法面保全設計	1 件	2,562
林道維持管理業務委託料	林道パトロール	4 件	2,333
林道除草業務委託料	林道沿線の草刈り	47 件	30,934
調査業務委託料	林道橋 (34 橋) 点検	1 件	7,817
林道側溝清掃業務委託料	林道側溝の清掃	27 件	10,852
林道維持工事	舗装修繕、橋梁修繕ほか	18 件	88,891
合計		107 件	149,523

決算書 (P 280～P 281)	6 款 2 項 3 目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

【事業の成果】

- ・定期パトロールによる林道巡視のほか、除草や側溝清掃等維持管理業務を適切に行ったことにより、林道の安全な通行を確保することができた。
- ・除草及び側溝清掃業務について、地元町内会へ委託し、効率的な業務遂行と林道維持管理費の縮減を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、林道の安全な通行を確保するため、適切な維持管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 1,220
実施設計委託料 (55) 林道維持工事 (1,165)
- ・その他：林道除草業務委託料、林道除雪業務委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,879
事業実施に伴い端数残額が発生したため 80

(参考) 市が管理する林道延長、路線数 令和 6 年 4 月現在

区 名	林道延長	路線数
合併前上越市	44,202m	15 路線
安 塚 区	32,393m	9 路線
浦 川 原 区	13,881m	4 路線
大 島 区	22,969m	11 路線
牧 区	16,233m	5 路線
柿 崎 区	23,528m	12 路線
大 潟 区	-	-
頸 城 区	8,506m	3 路線
吉 川 区	24,561m	9 路線
中 郷 区	9,446m	3 路線
板 倉 区	21,066m	7 路線
清 里 区	28,739m	10 路線
三 和 区	5,469m	2 路線
名 立 区	33,203m	7 路線
合 計	284,196m	97 路線

(単位：千円)

決算書 (P280～P283)	6 款 2 項 3 目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町跡畑線整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
277,006	178,029		124,600	50,700	14 (繰越金)	2,715
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
98,940	37					37

【目的】

造林や保育、木材の搬出など、森林資源の効率的な整備と林業の振興を図るため、新たに林道を開設し、沿線における森林整備を促進する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・新たに145mの林道を開設する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業進捗状況

区 分	全体計画 (平成17年度 ～令和6年度)	令和4年度 まで	令和5年度		令和6年度
			明許繰越	現年	
整備延長 (m)	5,867	4,984	392	173	318
補助対象事業費 (千円)	1,071,383	769,383	90,000	88,000	124,000
開設進捗率 (%)		85.0	94.6		100.0

○目標達成状況

- ・目標の L=145m に対し L=173m を整備したことで、沿線における森林整備を促進することができた。

決算書 (P 280～P 283)	6 款 2 項 3 目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町鉢畑線整備事業		

【事業の成果】

- ・林道整備により、沿線に広く分布する杉人工林の利用間伐等の整備が進む環境を整えた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・工事に当たっては、引き続き施工業者と協議を行いながら、安全に施工していく。
- ・繰り越した工事を含め、令和 6 年度の事業完了に向け、適切な事業管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：林道開設工事等が当初の見込みを下回ったため 36
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1



[着手前]



[竣工]

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,136	11,892					11,892
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,244		314			930

【目的】

豊かな森林環境を活用した快適なキャンプ場を維持し、レクリエーションの場を提供するとともに、地域の活性化を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■南葉高原キャンプ場 11,815

○令和 5 年度目標

・施設利用者数 11,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字中ノ俣 4966 番地 194 他
設置	昭和 56 年度
施設	南葉ロッジ(売店)、炊事場 1 か所、学習・休憩棟、バンガロー 7 棟、テントサイト 75 か所ほか
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	南葉高原キャンプ場管理運営協議会
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

決算書 (P282～P283)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	10,444 人	10,882 人	11,000 人	10,671 人
うち日帰り者数	5,244 人	5,550 人	-	4,940 人
うち宿泊者数	5,200 人	5,332 人	-	5,731 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	6,259	6,149	6,149	6,149
	管理運営委託料以外の経費	345	2,265	6,987	5,526
	エネルギー価格高騰補填金※	-	64	-	140
	合計	6,604	8,478	13,136	11,815
③公費投入額 (②-①)		6,604	8,478	13,136	11,815
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		632	779	1,194	1,107

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	4,985	5,688	4,500	5,977
	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	6,149	6,149	6,149	6,149
	エネルギー価格高騰補填金	-	64	-	140
	その他	1,358	1,329	1,010	2,288
	合計	12,492	13,230	11,659	14,554
②支出		12,341	13,075	11,659	14,313
差引 (①-②)		151	155	0	241

決算書 (P 282～P 283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

○目標達成状況

- ・施設利用者目標 11,000 人に対し 10,671 人となり、目標を達成することができなかった。

■地域独自の予算事業 77

キャンプ体験教室 地域観光事業（金谷区）(77)

【事業の成果】

- ・施設内の維持修繕や適切な管理運営により、快適なキャンプ環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・夏の高温の影響から日帰りでの利用が控えられたことが目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・更なる利用促進に向けて、指定管理者と連携し、適切な運営、維持管理に努めるとともに、市ホームページ等を通じて、広く情報を発信していく。
- ・施設の老朽化が進んでいることから、引き続き、快適なキャンプ場を維持し、レクリエーションの場を提供していくため、計画的な修繕や更新を行っていく。

【執行残額について】

- ・事業未実施：害虫防除業務委託料等が不要となったため 314
- ・その他：修繕料、諸資材費等が当初の見込みを下回ったため 929
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P 282～P 283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,760	5,742			4,900	14 (諸収入)	828
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	18					18

【目的】

信越トレイル周辺のブナ原生林や四季折々の植物など、自然を身近に感じられる活動の場を提供することにより、市民の健康増進を図る。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・利用者数 1,500 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置	昭和 63 年度
施設	コテージ 10 棟、森林体験交流センター、野外ステージほか
面積	34.6ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,498 人	1,481 人	1,500 人	1,412 人
うち日帰り者数	1,295 人	1,257 人	-	1,106 人
うち宿泊者数	203 人	224 人	-	306 人

決算書 (P 282～P 283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	4,955	4,955	4,955	4,955
	管理運営委託料以外の経費	847	2,265	805	787
	エネルギー価格高騰補填金※	-	30	-	-
	合計	5,802	7,250	5,760	5,742
③公費投入額 (②-①)		5,802	7,250	5,760	5,742
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位: 円)		3,873	4,895	3,840	4,067

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	730	763	1,000	1,066
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	4,955	4,955	4,955	4,955
	エネルギー価格高騰補填金	-	30	-	-
	その他	767	1,208	719	766
	合計	6,452	6,956	6,674	6,787
②支出		5,881	6,411	6,674	5,902
差引 (①-②)		571	545	0	885

○目標達成状況

- ・利用者数目標 1,500 人に対し 1,412 人となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・施設の適切な維持管理により、野外での交流等活動の場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・菖蒲高原緑地休養広場にアクセスする林道が災害等により通行に支障を及ぼしたことが目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・施設が老朽化していることから、修繕等を適切に行い、快適な利用の維持に努める。

決算書 (P 282～P 283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

【執行残額について】

- ・その他：テレビ受信料が当初の見込みを下回ったため 17
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,473	1,439					1,439
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	34					34

【目的】

自然とふれあい楽しめる保健休養地となるよう、適切な管理を行う。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・大潟夕日の森の維持管理及び運営

所在地	大潟区潟町 209 番地
設置	昭和 55 年度
施設	夕日の森展望台、遊歩道、ハマナスの池、駐車場、トイレ 2 か所
面積	11.5ha
管理	直営（業務委託）

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,396	1,422	1,473	1,439
	うち委託料	1,121	1,121	1,227	1,227
	その他	-	-	-	-
	合計	1,396	1,422	1,473	1,439
③公費投入額（②－①）		1,396	1,422	1,473	1,439
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		-	-	-	-

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟夕日の森管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理により、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者が安全で快適に利用できるよう、引き続き、施設の適切な維持管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費、諸資材費等の実績が当初の見込みを下回ったため 33
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
966	960				9 (諸収入)	951
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6					6

【目的】

松林やハマナスの植栽等が市民にとっての保健休養地となるよう、適切な管理を行う。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・上下浜日本海夕日の森の維持管理及び運営

所在地	柿崎区上下浜 244 番地 1
設置	平成 7 年度
施設	駐車場、トイレ 1 か所、遊歩道
面積	2.5ha
管理	直営（業務委託）

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	626	702	966	960
	うち委託料	400	400	463	463
	その他	-	-	-	-
	合計	626	702	966	960
③公費投入額 (②-①)		617	693	957	951
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		-	-	-	-

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理により、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者が安全で快適に利用できるよう、引き続き、施設の適切な維持管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費、手数料の実績が見込みを下回ったため 5
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
229	220				9 (諸収入)	211
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9				9	

【目的】

市民に緑豊かなブナ林のなかで自然とふれあい、心安らぐ憩いの場を提供する施設として適切な管理を行う。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・やすらぎの森大島の維持管理及び運営

所在地	大島区大島 2099 番地
設置	平成 15 年度
施設	管理棟、トイレ 1 か所、遊歩道ほか
面積	12.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	219	220	229	220
	うち委託料	210	210	210	210
	その他	-	-	-	-
	合計	219	220	229	220
③公費投入額（②－①）		210	211	220	211
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		-	-	-	-

決算書 (P282～P283)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理により、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者が安全で快適に利用できるよう、引き続き、施設の適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費の実績が当初の見込みを下回ったため 9

(単位：千円)

決算書 (P282～P283)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,678	7,442					7,442
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,236			2,135		101

【目的】

市民の余暇活動の推進を図るため、桟橋からの釣りや自然の岩場を利用したサンビーチでの磯遊びができる施設として、適切な維持管理を実施する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・利用者数 8,000 人

○実施内容、これまでの経過等

- ・維持管理 1,213
- ・釣桟橋施設健全度調査業務委託料 4,939
- ・床版張替工事 1,290

・施設の概要

所在地	大字虫生岩戸 719 番地先
設置	昭和 58 年度
構造	鉄骨造 釣り桟橋 L=185.0m W=3.5～4.5m
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 23 年度
指定管理者	環境をサポートする株式会社きらめき
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日

決算書 (P 282～P 283)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計画	実績
利用者数	5,690 人	7,149 人	8,000 人	6,399 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	海洋フィッシングセンター管理運営委託料	526	534	494	494
	管理運営委託料以外の経費	63	2,575	9,184	6,948
	合計	589	3,109	9,678	7,442
③公費投入額 (②－①)		589	3,109	9,678	7,442
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位：円)		104	435	1,210	1,163

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	780	1,505	2,185	1,368
	海洋フィッシングセンター管理運営委託料	526	534	494	494
	その他	848	478	786	476
	合計	2,154	2,517	3,465	2,338
②支出		2,343	2,279	3,465	2,517
差引 (①－②)		△189	238	0	△179

○目標達成状況

- ・利用者数目標 8,000 人に対し、6,399 人となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P282～P283)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

【事業の成果】

- ・ 栈橋の床版張替工事や維持管理を適切に行ったことにより、安全に利用できる環境を提供できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 10月の天候不順や県外からの団体利用が想定よりも少なかったことが目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・ 釣栈橋施設健全度調査の結果、施設の老朽化が進み、改修による安全対策が必要なことから、令和6年度の営業を休止し、今後の管理運営方法を検討していく。

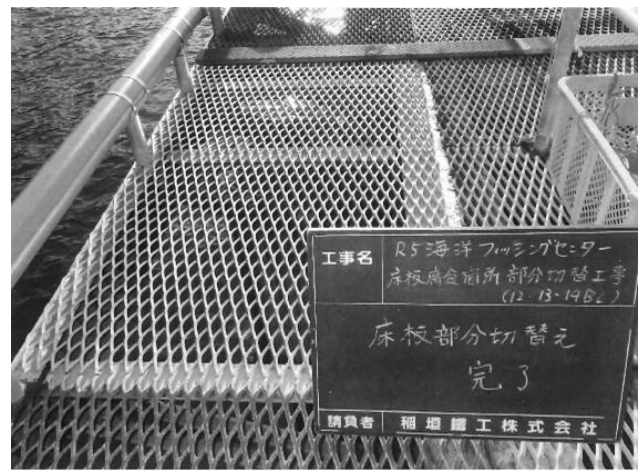
【執行残額について】

- ・ 入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 2,135
施設管理運営業務委託料 (2,135)
- ・ その他：場内施設改修工事の実績が当初の見込みを下回ったため 100
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

〔床版張替工事〕



〔着手前〕



〔完了〕

(単位：千円)

決算書 (P284～P285)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,281	1,911		150			1,761
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
24,144	226					226

【目的】

水産物の安定的な漁獲を確保するため、種苗の放流を行い、水産資源の維持を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・漁業団体が行う水産資源の維持を図る取組を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

漁場	事業主体	魚種	数量	補助金額
海面	上越市漁業協同組合	ヒラメ	22,900 尾	925
		クルマエビ	100,000 尾	
内水面	関川水系漁業協同組合	アユ	70kg	151
	桑取川漁業協同組合	アユ	60kg	128
合 計				1,204

○目標達成状況

- ・漁業協同組合が行った、ヒラメやアユなどの種苗放流に対し支援した。

【事業の成果】

- ・水産資源の維持に向けて、漁業協同組合が実施した、ヒラメやアユなどの種苗放流の取組を支援し、つくり育てる漁業を推進した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域水産業の持続的な漁業生産量を確保するため、引き続き、水産資源を保全するための取組を支援していく。
- ・繰り越した水産業施設復旧支援事業補助金について、早期完了に向け、適切な支援に努める。

決算書 (P284～P285)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

【執行残額について】

- ・その他：県水産振興協会負担金、漁業種苗放流事業補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 226

(単位：千円)

決算書 (P284～P285)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業（フィッシャリーナ）		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
28,940	16,567		1,978		2,582 (使用料、諸収入)	12,007
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
11,497	876		55	9		812

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■有間川漁港 2,427

○実施内容、これまでの経過等

・有間川漁港の維持管理及び運営

所在地	大字有間川地先
施設	防波堤、護岸、突堤、船揚場、物揚場、臨港道路ほか
設置経過	昭和 49 年度 第 1 種漁港指定、昭和 50 年度 着工 昭和 63 年度 供用開始、平成 25 年度 完成
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	345	247	724	203
	合計	345	247	724	203
②支出	施設維持管理費	1,045	848	1,808	2,427
	うち委託料	638	497	1,403	1,099
	その他	-	-	-	-
	合計	1,045	848	1,808	2,427
③公費投入額（②－①）		700	601	1,084	2,224
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		-	-	-	-

決算書 (P284～P285)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業（フィッシャリーナ）		

■フィッシャリーナ 14,140

○実施内容、これまでの経過等

- ・浮棧橋修繕工事 5,500（前払金）
- ・係留チェーン取替工事 2,255

・フィッシャリーナの維持管理及び運営

所在地	大字有間川地先
施設	浮棧橋、休憩施設ほか
設置経過	平成 13 年度 着工 平成 14 年度 完成、供用開始
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

・利用実績

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
プレジャーボート	2 隻	2 隻	3 隻
営業船（釣船等）	8 隻	8 隻	8 隻
ヨット	1 隻	1 隻	1 隻
合計	11 隻	11 隻	12 隻

・施設管理における市の収支状況

区分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2,403	2,350	2,349	2,536
	その他	50	1,480	1,555	1,821
	合計	2,453	3,830	3,904	4,357
②支出	施設維持管理費	7,272	7,702	27,132	14,140
	うち委託料	3,525	3,481	5,253	5,067
	その他	-	-	-	-
	合計	7,272	7,702	27,132	14,140
③公費投入額（②－①）		4,819	3,872	23,228	9,783
④利用船 1 隻当たりの 公費投入額（単位：円）		438,091	352,000	-	815,250

決算書 (P 284～P 285)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業（フィッシャリーナ）		

【事業の成果】

- ・施設内の修繕など適切な維持管理により、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や利用者への聞き取り等により施設の状況を把握し、船舶の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、適切な維持管理に努めていく。
- ・繰り越した浮桟橋修繕工事については、早期に完了できるよう、製作に係る調整を含めた適切な進捗管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・事業未実施：能登半島地震発生に伴い会議の開催を見合わせたため 55
- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 9
 - ごみ収集処理委託料（5）
 - 施設管理委託料（3）
 - 休憩施設トイレ保守点検委託料（1）
- ・その他：修繕料、漂着物処理委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 810
 - 事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P284～P285)	6 款 3 項 2 目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,103	8,076		327		19 (諸収入)	7,730
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	27					27

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・柿崎漁港の維持管理及び運営

所在地	柿崎区直海浜地先
施設	防波堤、護岸、防砂堤、船揚場、物揚場、離岸堤、 臨港道路ほか
設置経過	昭和 52 年度 第 1 種漁港指定 昭和 53 年度 着工 平成 11 年度 供用開始 平成 21 年度 完成
管 理	直営（業務委託）

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	19	143	19	346
	合計	19	143	19	346
②支出	施設維持管理費	1,371	5,107	8,103	8,076
	うち委託料	219	916	596	595
	その他	-	-	-	-
	合計	1,371	5,107	8,103	8,076
③公費投入額（②－①）		1,352	4,964	8,084	7,730
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		-	-	-	-

決算書 (P 284～P 285)	6 款 3 項 2 目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

【事業の成果】

- ・港内の浚渫^{しゅんせつ}など適切な維持管理により、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、適切な維持管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費、手数料等の実績が当初の見込みを下回ったため 25
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

〔港内の浚渫^{しゅんせつ}状況〕



(単位：千円)

決算書 (P284～P285)	6 款 3 項 2 目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,998	1,966		45		14 (使用料)	1,907
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	32					32

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大潟漁港の維持管理及び運営

所在地	大潟区渋柿浜地先
施設	防波堤、護岸、船揚場、物揚場、離岸堤、漁具倉庫、休憩施設、臨港道路ほか
設置経過	昭和 57 年度 第 1 種漁港指定 昭和 57 年度 着工 平成 17 年度 供用開始 平成 27 年度 完成
管 理	直営（業務委託）

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	14	14	14	14
	その他	-	74	-	45
	合計	14	88	14	59
②支出	施設維持管理費	27,129	1,471	1,998	1,966
	うち委託料	163	186	297	154
	その他	-	-	-	-
	合計	27,129	1,471	1,998	1,966
③公費投入額（②－①）		27,115	1,383	1,984	1,907
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		-	-	-	-

決算書 (P284～P285)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

【事業の成果】

- ・船揚場の砂撤去など適切な維持管理により、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、施設の適切な維持管理に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：普通旅費、修繕料等の実績が当初の見込みを下回ったため 31
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

〔船揚場の砂撤去〕



〔着手前〕



〔完了〕

(単位：千円)

決算書 (P388～P389)	11 款 2 項 1 目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
300,841	231,460		52,973	1,700	12,981 (分担金、繰越金)	163,806
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
51,759	17,622			5,727		11,895

【目的】

融雪、豪雨等により被災した農地及び農業用施設を復旧し、農業生産基盤の維持を図る。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・令和 3 年融雪期に発生した地すべり災害の農地復旧 2 か所について、令和 5 年度中に復旧する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和 4 年度明許繰越分：公共災害

区名	地区名	区分	主な執行額	内容
牧区	棚広	豪雨災	工事請負費 14,897	用水路復旧 L=10m
合 計			14,897	

- ・令和 5 年度分：公共災害

区名	地区名	区分	主な執行額	内容
牧区	棚広	豪雨災	委託料 4,142	測量設計 一式
			委託料 1,804	補助率増高申請 一式
		地すべり災	工事請負費 5,792	農地復旧 一式
清里区	梨平	地すべり災	工事請負費 4,043	農地復旧 一式
合 計			15,781	

決算書 (P 388～P 389)	11 款 2 項 1 目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

・令和 5 年度分：小規模災害

区 名	区 分	執行額	件 数
合併前上越市、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、頸城区、吉川区、板倉区、清里区、三和区、名立区	融雪災	工事請負費 24,067	45 件
	豪雨災	工事請負費 65,765	124 件
	干ばつ災	工事請負費 16,441	26 件
	地震災(R5.5.5)	工事請負費 8,364	14 件
	地震災(R6.1.1)	工事請負費 19,878	27 件
合 計		134,515	236 件

・干ばつ災害水田復旧補助事業

区 名	箇所数	筆 数	面積 (㎡)	実施額	補助金額
安 塚 区	75	622	525,664	30,932	19,777
浦 川 原 区	10	38	32,288	1,873	1,212
大 島 区	16	46	44,986	2,624	1,687
牧 区	69	1,122	939,320	54,380	34,228
吉 川 区	10	74	104,268	5,996	3,827
板 倉 区	1	12	7,957	551	299
合 計	181	1,914	1,654,483	96,356	61,030

○目標達成状況

- ・地すべり災害復旧 2 か所（牧区棚広地内、清里区梨平地内）について、県の復旧工事に時間を要したことから、年度内に完了することができなかった。（令和 6 年度に繰り越した公共災害 2 件及び小規模災害 2 件の復旧工事については、令和 6 年の作付け前に完了した。）

【事業の成果】

- ・公共災害 1 件（牧区棚広地内）と小規模災害 236 件、干ばつ災 181 箇所の農地、農業用施設を速やかに復旧、支援したことにより、農業生産基盤の維持が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・名立区杉野瀬地内の地すべり災害については、土砂が安定するまで調査、観測を継続するとともに、適切な進捗管理に努めていく。
- ・災害復旧に当たっては、引き続き、地元関係者や関係機関と連携し、速やかな復旧に努めていく。

決算書 (P 388～P 389)	11 款 2 項 1 目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 5,727
測量設計委託料 (5,727)
- ・その他：消耗品費、災害復旧工事の実績が当初の見込みを下回ったため 11,895

〔地すべり災：梨平地区農地復旧工事（清里区梨平地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

〔干ばつ災：干ばつ災害水田復旧工事（牧区小川地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

(単位：千円)

決算書 (P388～P391)	11 款 2 項 2 目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
131,273	119,004		84,307	4,100	1,851 (繰越金)	28,746
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
12,149	120					120

【目的】

融雪、豪雨等により被災した林業用施設を復旧し、林業生産基盤の維持を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・令和 4 年度明許繰越分：公共災害

区名	林道名	区分	執行額	内容
合併前上越市	中ノ俣線	地すべり災	工事請負費 81,262	災害復旧 L=71m
合計			81,262	

・令和 5 年度分：公共災害

区名	林道名	区分	執行額	内容
大島区	菱ヶ岳 3 号線	融雪災	委託料 3,333 工事請負費 6,100 (前払金)	測量設計 一式 災害復旧 L=67m
合計			9,433	

・令和 5 年度分：小規模災害

区名	区分	執行額	内容
合併前上越市、安塚区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、板倉区、清里区、三和区、名立区	融雪災	工事請負費 10,524	13 件（路肩・路面・法面復旧、崩土撤去等）
	豪雨災	工事請負費 17,785	28 件（路肩・路面・法面復旧、崩土撤去等）
合計		28,309	41 件

決算書 (P 388～P 391)	11 款 2 項 2 目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

【事業の成果】

- ・公共災害（繰越）1 件と小規模災害 41 件の林業用施設を速やかに復旧したことにより林業生産基盤を維持することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和 6 年度に繰り越した林道菱ヶ岳 3 号線については、降雪前に現場が完了できるよう、適切な進捗管理に努めていく。
- ・災害復旧に当たっては、引き続き、関係機関と連携し、速やかな復旧に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 120

〔地すべり災：林道中ノ俣線災害復旧工事（大字中ノ俣地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

〔融雪災：林道大町峠畑線施設災害復旧工事（名立区名立大町地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

(単位：千円)

決算書 (P390～P391)	11 款 2 項 3 目 漁港災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,552	3,550					3,550
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2					2

【目的】

令和6年能登半島地震で被災した漁港施設等を復旧し、水産業基盤の維持を図る。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・漂着物処理

区名	施設名	執行額	内容
合併前 上越市	海洋フィッシングセンター	委託料 572	漂着物処理
	有間川漁港	委託料 440	
柿崎区	柿崎漁港	委託料 440	
大潟区	大潟漁港	委託料 495	
合 計		1,947	

・災害復旧

区 名	施設名	執行額	内 容
合併前 上越市	直江津港	工事請負費 245	海水ポンプ配管修繕
大潟区	大潟漁港	工事請負費 891	西防波堤コンクリート修繕
		工事請負費 467	進入路法面修繕
合 計		1,603	

決算書 (P 390～P 391)	11 款 2 項 3 目 漁港災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港災害復旧費		

【事業の成果】

- ・津波による漂着物処理と地震による施設復旧を速やかに実施したことにより、水産業基盤の維持が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・災害復旧にあたっては、引き続き、関係機関と連携し、速やかな復旧に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

〔大潟漁港漂着物処理〕



〔着手前〕



〔竣工〕

〔大潟漁港西防波堤修繕〕



〔着手前〕



〔竣工〕